

| | | | |
|--------------|-------------------------|------------|------|
| 授業科目名 | 人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309) | | |
| 時間割名 | 人間教育学ゼミナール（基礎）(35106) | | |
| 時間割担当 | 竹田治美 | | |
| 実施期 | 通年 | 単位数 | 4 選択 |
| 曜日・時限 | 水・5 | | |

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、多文化共生と異文化理解 外国人児童・生徒の学校教育、近年、日本社会のグローバル化に伴い、異なる文化背景を有する人がますます増え、社会の多民族化が進行している。学校現場において急速に増加してきた外国人の子どもに対する教育は重要な課題になっている。日本語の指導、家庭生活との関連、対人関係、学習に対する意識、進路などについて学内外の指導を考え、考察を加える。

学習の到達目標

多様な文化と異質な文化に接する日本人の子どもへの対応や多文化への相互理解も育み、積極的に交流を広め、国際人の意識と能力を培うことを目指したい。

授業方法・形式

文献を用いて分析・考察する

授業計画

- 1) 学校における外国人児童・生徒の現状
- 2) アジアの子どもたち
- 3) マイノリティーをマジョリティー
- 4) 外国語でコミュニケーションすることを考える
- 5) 非言語コミュニケーションを考える
- 6) 日本のバイリンガル教育
- 7) イギリスのグローバル教育
- 8) アメリカの多文化教育
- 9) 価値観の相違を考える
- 10) 多文化共生に向けて

成績評価の基準

アンケート調査、発表、レポートで評価する。

授業時間外の課題

講義中に指示する。

メッセージ

異なる文化を理解して、自己の文化力を高める。

教材・教科書

資料を配布する。

参考書

資料を配布する。